

ジャコ万と鉄

黒澤明監督生誕100年を記念して、
黒澤明が脚本を書いた作品を特集。

特別企画

黒澤明脚本映画特集

姿三四郎

英国王給仕人に乾杯!

チェコ映画の巨匠メンツェル監督の、
笑いと愛を盛りこんだ傑作3作品を特集。

特別企画

イジー・メンツェル監督特集

黒澤明監督生誕100年を記念して、黒澤明が脚本を書いた作品を特集。

黒澤明脚本映画特集

会期:7月9日(金)～7月25日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人)/500円(大学生・高校生)/400円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)



©日活

9(金) 14:00 | 15(木) 14:00 | 17(土) 14:00

どら平太

ある小藩の奉行所に、江戸から“どら平太”というあだ名で悪評高い望月小平太が赴任してくる。藩の壕外と呼ばれる地域では、藩の重職たちがその親分達と結託して密輸や賭博などを行っていた。ところがどら平太はこれを粛正するどころか、遊び人として壕外で遊び歩くのだった。黒澤明、木下恵介、市川崑、小林正樹の4人の監督が集まって作った「四騎の会」の脚本作品。物語の土台は黒澤明が作っている。



©日活

2000年/35ミリ/カラー/111分

「どら平太」製作委員会

監督:市川崑

出演:役所広司 浅野ゆう子

10(土) 11:00 | 15(木) 11:00 | 18(日) 14:00

雨あがる

江戸、享保時代。三沢伊兵衛は武芸の達人ながら、人の良さが災いしてなかなか士官することができない。彼は妻・たよと旅を続けていたが、長雨のため河を渡ることができず宿場町に足止めされていた。ある日侍同士の果たし合いに出くわした伊兵衛は仲裁に入る。「影武者」「乱」などの助監督だった小泉堯史が、黒澤明の遺稿を映画化し監督デビューを果たした作品。



2000年/35ミリ/カラー

91分/「雨あがる」製作委員会

監督:小泉堯史

出演:寺尾聰 宮崎美子

10(土) 14:00 | 16(金) 14:00 | 18(日) 11:00

海は見ていた

江戸、深川にある“葦の家”の若い娼婦・お新は、「客に惚れてはいけない」という遊女の掟を知りながら、彼女の元に通い詰める房之助に想い寄せるようになる。しかし房之助は別の女性と結婚してしまう。絶望するお新の前に不幸な生い立ちの良介が現れる。良介を励ます内にお新は次第に惹かれていく。黒澤明が撮影寸前までいきながら断念した遺稿を熊井啓監督が映画化した作品。日活創立90周年記念作品。



©日活

2002年/35ミリ/カラー/119分

「海は見ていた」製作委員会

監督:熊井啓

出演:清水美砂 遠野風子

10(土) 17:00 | 22(木) 14:00 | 24(土) 11:00

銀嶺の果て

銀行強盗を働いた三人組の男が北アルプスに逃げ込む。一人が雪崩に巻き込まれ、残った二人は山小屋に逃げ込む。そこには老人と孫の少女、そして登山家が三人で暮らしていた。正体を知られた二人は登山家を道案内にして逃走をしようとする。谷口千吉の初監督作品で、脚本は黒澤明が谷口の監督昇進のために書いたオリジナル。三船敏郎の実質的な映画デビュー作でもある。



1947年/35ミリ/モノクロ/89分/東宝

監督:谷口千吉

出演:志村喬 三船敏郎

11(日) 11:00 | 16(金) 11:00 | 24(土) 14:00

ジャコ万と鉄

北海道のニシン漁の季節。網元の九兵衛の元に多くの出稼ぎ漁夫が集まってくる。その中に片目のジャコ万という男がいた。九兵衛はジャコ万に弱みがあり、仕事をしない乱暴者のジャコ万を抑えることができない。そこに九兵衛の息子の鉄が帰ってくる。黒澤明・谷口千吉の共同脚本作品。三船敏郎が鉄を力強い演技で好演する谷口監督の代表作の一本。



1949年/35ミリ/モノクロ/91分

東宝=49年プロ

監督:谷口千吉

出演:三船敏郎 月形龍之介

11(日) 14:00 | 23(金) 11:00 | 25(日) 11:00

暁の脱走

昭和20年の中国大陸。歩兵一個大隊が駐屯する中に、脱走などの嫌疑をかけられた三上上等兵と慰問団の女・春美がいた。しかし実際は二人は愛し合っており、部隊が敵襲に逢い、中国軍の捕虜になっただけだった。黒澤明と谷口千吉の共同脚本である。「ジャコ万と鉄」などのダイナミックなアクション映画から、谷口監督は黒澤明の好敵手と見られていた。本作は谷口監督の代表作である反戦映画の力作である。



1950年/35ミリ/モノクロ/111分

新東宝

監督:谷口千吉

出演:池部良 山口淑子

14(水) 14:00 | 19(月・祝) 14:00 | 25(日) 14:00

姿三四郎

明治15年、柔術家を志す姿三四郎は、矢野正五郎の柔術の強さと人格にうたれ、門下生となる。矢野は柔術を柔道と改め、武道としての地位を高めようとする若き指導者だった。三四郎は柔術と柔道が雌雄を決する大会で、相手の村井に勝利する。そして檜垣源之助の挑戦を受けるのだった。43年に黒澤明が脚本を書き監督デビューした作品のリメイク。姿三四郎を加山雄三が、矢野正五郎を三船敏郎が演じている。



1965年/35ミリ/カラー/158分/東宝

監督:内川清一郎

出演:三船敏郎 加山雄三

チェコ映画の巨匠メンツェル監督の、笑いと愛を盛りこんだ傑作3作品を特集。

イジー・メンツェル監督特集



会期:7月1日(木)~7月7日(水) ※休館日除く

観覧料:800円(大人)/700円(大学生・高校生)/600円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は400円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は400円(会員証の提示が必要です。)



1(木) 14:00 | 3(土) 11:00 | 4(日) 14:00 | 6(火) 19:00

英国王給仕人に乾杯! *I Served the King of England*

1963年、共産主義体制のプラハ。刑期を終えて出獄したヤンの人生は給仕人の人生だった。ビール注ぎの見習いから始まり、ホテル・パリでの修行。38年、ヒトラーによるチェコスロヴァキア占領。その時代ヤンはドイツ人女性と恋をする。平凡な給仕人ヤンを主人公に小国チェコの激動の20世紀を、軽やかなユーモアの語り口と甘美な映像美で描き出した傑作。ベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞受賞。



2007年/35ミリ/カラー
120分/チェコスロヴァキア/日本語字幕付き
監督:イジー・メンツェル
出演:イヴァン・バルネフ オルドジフ・カイゼル

2(金) 14:00 | 3(土) 14:00 | 6(火) 14:00 | 7(水) 19:00

スイート・スイート・ビレッジ *My Sweet Little Village*

プラハの南にあるのどかな村。トラックの運転手パヴェクは助手のオチクと仕事をしていて、両親を亡くしたオチクにとって、パヴェクは父親代わりだったが、いつもドジをしてはパヴェクに怒鳴られる。最近村には別荘が建つようになり、次第に様子が変わっていた。近代化の波に巻き込まれる小さな村の騒動を、コミカルなタッチで描いた作品で、87年アカデミー外国語映画賞にノミネートされた傑作。



1985年/35ミリ/カラー
102分/チェコスロヴァキア/日本語字幕付き
監督:イジー・メンツェル
出演:ヤーン・シュ・バーン マリアン・ラブダ

17(土) 11:00 | 19(月・祝) 11:00 | 23(金) 14:00

あすなる物語

梶鮎太は12歳の少年で、祖母に育てられた。ある日祖母の妹の娘である牙子が引き取られてくる。村の近くで肺病のため静養していた加島は牙子と深い仲だった。そして二人は心中する。3年後、祖母が亡くなった鮎太は寺の住職の世話になる。井上靖の同名小説を黒澤明が脚本化した作品。監督は黒澤明の助監督を務めていた堀川弘通で、本作が監督デビューである。鮎太の成長の物語が瑞々しいタッチで描かれる。



1955年/35ミリ/モノクロ/109分/東宝
監督:堀川弘通
出演:久保明 岡田茉莉子

2(金) 19:00 | 3(土) 17:00 | 4(日) 11:00 | 7(水) 14:00

厳重に監視された列車 *Closely Watched Trains*

第二次大戦中、ナチスに占領されたチェコ。青年ミロシュは父親を継いで村の駅員になる。駅には鳩が大好きな駅長マックス、女にしか興味のない主任フビチカ、電信技師の少女ズデニチカが勤務していた。しかし駅を通る列車はナチス軍用列車ばかり。ミロシュは列車の車掌マーシャに恋をする。しかし童貞のミロシュはどうしてよいかわからず失敗、自殺を図る。フビチカはミロシュに恋の手ほどきをするが、実は彼は密かにレジスタンスと通じており、軍用列車の爆破命令が届く。



1966年/35ミリ/モノクロ
93分/チェコスロヴァキア/日本語字幕付き
監督:イジー・メンツェル
出演:ヴァーツラフ・ネツカシュ
イトカ・ベンドヴァー

イジー・メンツェル監督28歳の時の見事な監督デビュー作である。マーシャとミロシュの微笑ましい恋愛、そしてドイツへのレジスタンス活動か、童貞の悩みの解決が先かというコミカルな状況の描写は「プラハの春」といわれた当時の自由化の波を象徴する。67年アカデミー賞外国語映画賞を受賞し、2005年TIME誌による史上ベスト100に選出された傑作である。

イジー・メンツェル監督(Jiří Menzel)について——

1938年、チェコのプラハ生まれ。国立映画学校卒業後、俳優として映画に出演。65年チェコ最大のバランドフ撮影所に入る。66年「厳重に監視された列車」で、一躍国際的に認められる。折から「プラハの春」と呼ばれる社会主義体制の中での自由化の機運の中で、「アマデウス」のミロス・フォアマン監督、「ひなぎく」のヴェラ・ヒティロヴァー監督らと共に若手の旗手と目される。68年ソ連の弾圧以降も亡命せず、作品を作り続ける。チェコ映画らしいユーモアと優しさに満ちた作品は世界中の人々に愛されている。その他の代表作として「つながれたヒバリ」(69年)などがある。

黒澤明監督(1910年~1998年)について——

東京都出身。当初は画家を志していたが、36年にP.C.L映画製作所(現在の東宝)に入社。先輩である谷口千吉の推薦で山本嘉次郎「馬」などの助監督につく。助監督時代から脚本を執筆しており、その才能は早くから高く評価されていた。その巧みなストーリーテリングの脚本は自作だけでなく、多くの監督に映画化されている。43年「姿三四郎」で監督デビュー。「一番美しく」(44年)、「酔いどれ天使」(48年)など社会派のドラマで注目を浴びる。また三船敏郎とのコンビで多くの作品を製作。「酔いどれ天使」以降三船敏郎は黒澤作品になくはならない存在となる。「羅生門」(51年)でヴェネチア映画祭金獅子賞を受賞、国際的に注目される。その後「生きる」(52年)、「七人の侍」(54年)、「用心棒」(61年)、「天国と地獄」(63年)などの傑作により、日本を代表する監督となる。最後の監督作品は「まあだだよ」(93年)。98年脳卒中により死去。同年国民栄誉賞受賞。99年米タイム誌アジア版で「今世紀最も影響力のあったアジア人20人」に選ばれる。今も世界中の映画人から尊敬される監督である。



1・木	14:00 英国王給仕人に乾杯!	
2・金	14:00 スイート・スイート・ピレッジ	19:00 嚴重に監視された列車
3・土	11:00 英国王給仕人に乾杯!	14:00 スイート・スイート・ピレッジ
4・日	11:00 嚴重に監視された列車	14:00 英国王給仕人に乾杯!
5・月	休館日	
6・火	14:00 スイート・スイート・ピレッジ	19:00 英国王給仕人に乾杯!
7・水	14:00 嚴重に監視された列車	19:00 スイート・スイート・ピレッジ
8・木	休映日	
9・金	14:00 どら平太	
10・土	11:00 雨あがる	14:00 海は見ていた
11・日	11:00 ジャコ万と鉄	14:00 暁の脱走
12・月	休館日	
13・火	休映日	
14・水	14:00 姿三四郎	
15・木	11:00 雨あがる	14:00 どら平太
16・金	11:00 ジャコ万と鉄	14:00 海は見ていた
17・土	11:00 あすなる物語	14:00 どら平太
18・日	11:00 海は見ていた	14:00 雨あがる
19・月祝	11:00 あすなる物語	14:00 姿三四郎
20・火	休館日	
21・水	休映日	
22・木	14:00 銀嶺の果て	
23・金	11:00 暁の脱走	14:00 あすなる物語
24・土	11:00 銀嶺の果て	14:00 ジャコ万と鉄
25・日	11:00 暁の脱走	14:00 姿三四郎
26・月	休館日	

7月27日(火)以降のスケジュールは
シネラニュース8月号に掲載します。

予約制・無料(受付:平日9時~17時)
相続・遺言、不動産の個別相談会
私達、財務コンサルタントがご相談を承ります。



河内山 義昭



内山 創

住友信託銀行 福岡支店
092-781-4405 (受付:平日9時~17時)
予約は前営業日までをお願いします。

城南市民カレッジ

6月17日(木) 13:30~

映画に見るアジアの魅力
~アジアフォーカス・福岡国際映画祭~

上映作品「虹の兵士たち」

2008年/124分/インドネシア映画/監督:リリ・リザ

会場:城南市民センター(福岡市城南区片江5丁目3-25)

定員:500名(先着順)

料金:無料

応募できる人:18歳以上(高校生を除く)で市内に住むか通学・通勤する人。
申し込み方法:受講申込書に必要事項を記入の上、城南市民センターへ。

FAX(092-862-2801)での申し込みもできます。

締切:定員500名まで随時申し込みを受け付けます。

申し込み・お問い合わせ先:城南市民センター TEL.092-862-2141

アミカス男女共同参画週間事業
~アジアフォーカス・出前映画祭~

無料映画上映会

「母と娘」(原題:ANAK)

2000年/120分/フィリピン映画

6月26日(土) 午前の部 10:00~ 午後の部 14:00~

場所:福岡市男女共同参画推進センター・アミカス4階ホール
(西鉄大牟田線高宮駅西口下車スグ)

定員:150名(先着順)

料金:無料

託児:6ヶ月から就学前まで、無料、要事前申込6月1日迄(おやつ代100円必要)。

申し込み:電話、FAX、アミカスホームページから

TEL.092-526-3755 FAX.092-526-3766

information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600

映像資料課:tel.092-852-0608 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがあり
ますので、できるだけ公共交通機関を
ご利用ください。

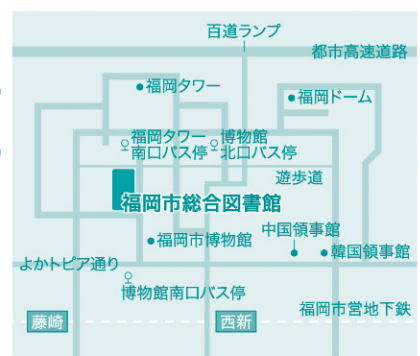
市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南
口下車徒歩5分または博物館南口下車
徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。
バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、
またお近くのバス停からのご利用については
西鉄お客様センター【tel.0570-00-1010】に
直接お問い合わせください。



◆◆◆ 第120回福岡日伊協会映画会 ◆◆◆

『刑事』(1959年制作/110分)

監督:ピエトロ・ジェルミ/音楽:カルロ・ルスティ・ケリ/出演:クラウディア・カルディナーレ、ピエトロ・ジェルミ他

日時:2010年7月23日(金) 19:00~21:00 ※入場無料・先着120名

会場:あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL.092-263-1100

主催:福岡日伊協会 TEL.092-476-2153(西日本シティ銀行内)

協力:財団法人福岡文化財団